

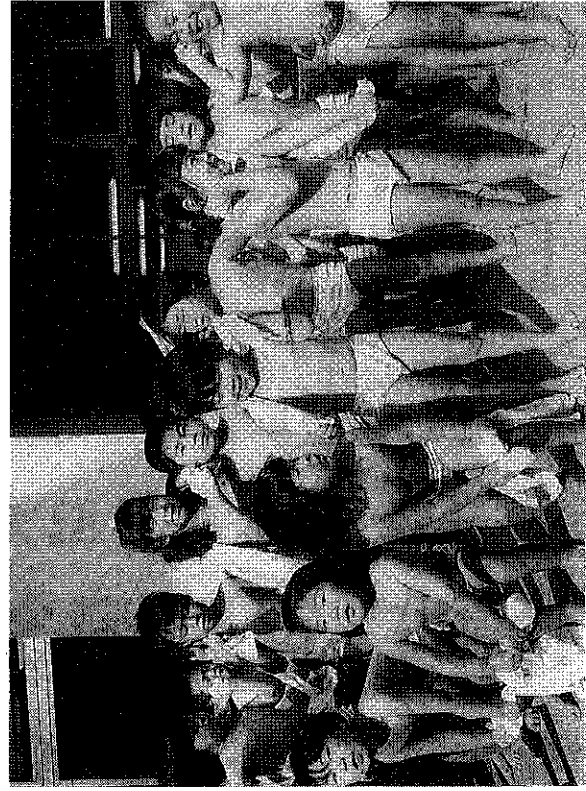
No.29

発行/奈良市議会
編集/奈良市議会だより
編集委員



〒630 奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
☎ (0742) 34-4734

奈良市議会だより



寒空で元気に乾布摩擦 (学園南保育園)

初日、本会議の開会に先立ち、昨年九月二十一日に逝去された故森本三郎議員の冥福を祈り全員で黙とうをささげ、議長が追悼のことは述べました。

この後、市長は召集あいさつで、柿本善也新知事と緊密な連携を図りながらJR奈良駅周辺の整備事業など大型プロジェクトの推進を積極的に進め、魅力と活力のあるまち

づくりを進めてまいりたい。さらに、JR線の連続立体事業について大いに促進していただきたいと願っていると述べられました。

九月定例会で審査の付託を受け、都市基盤整備特別委員会で閉会中も継続して審査をしてきた「奈良市東部ゾーンにおける大規模開発に関する基本方針」については、委員長から審査概要(別掲)の報告を受けた後、採決した結果、原案に同意しました。その内容は、現在東部ゾーンは豊かな森林地域や農業地域として良好な自然環境を形成しているところであるが、近年ゴルフ場開発など市民の意の場としての開発が急増している外、廃棄物処分場や、土石採取による土地の荒廃化が進んでいる。こうしたことから今後、自然環境と調和した開発が重要な課題となっており、このため、大規模な開発については、学術文化の向上や地元の振興、活性化に資する大学、スポーツ・レクリエーション施設などで、地元要望があり、または同意が得られる等一定の要件に該当するものでなければならないとするものです。

また、今議会では八人の議員が質疑・一般質問(要旨は二・三面に掲載)を行い、平成二年度歳入歳出決算の認定については決算特別委員会を設置しての審査も行い、上程した三十四件の議案はすべて原案どおり可決しました。このうち人権擁護委員の推薦については、中西靖氏と藤原好雄氏の推薦に同意しました。このほか、議員提案の意見

12月定例会

平成三年十二月定例会は、十二月二日から十六日までの十五日間の会期で開きました。今議会では、平成二年度一般会計及び十二特別会計決算の認定など三十四件の市長提案案件と去る九月定例会から継続審査してきた「奈良市東部ゾーンにおける大規模開発に関する基本方針」及び議員提案の意見書三件をすべて原案どおり可決しました。

東部ゾーン 大規模開発に関する基本方針に同意

要件に該当の開発は認める

告を受けた後、採決した結果、原案に同意しました。その内容は、現在東部ゾーンは豊かな森林地域や農業地域として良好な自然環境を形成しているところであるが、近年ゴルフ場開発など市民の意の場としての開発が急増している外、廃棄物処分場や、土石採取による土地の荒廃化が進んでいる。こうしたことから今後、自然環境と調和した開発が重要な課題となっており、このため、大規模な開発については、学術文化の向上や地元の振興、活性化に資する大学、スポーツ・レクリエーション施設などで、地元要望があり、または同意が得られる等一定の要件に該当するものでなければならないとするものです。

また、今議会では八人の議員が質疑・一般質問(要旨は二・三面に掲載)を行い、平成二年度歳入歳出決算の認定については決算特別委員会を設置しての審査も行い、上程した三十四件の議案はすべて原案どおり可決しました。このうち人権擁護委員の推薦については、中西靖氏と藤原好雄氏の推薦に同意しました。このほか、議員提案の意見

書三件も原案どおり可決して十二月定例会を閉会しました。

都市基盤整備 特別委の審査

去る九月定例会で審査の付託を受けた「奈良市東部ゾーンにおける大規模開発に関する基本方針」について、委員会は現地視察も交え、延べ四日間にわたる慎重な審査の結果原案に同意しました。以下は審査の概要です。

基本方針の必要性

問 環境アセスの方法や審査基準等を定めるよりも方針を急いで決めた理由は何か。

答 市全域が都市計画区域であり、早い機会に一定の方針を出さないと乱開発等が起きます。ゴルフ場は現行の指導要綱で対応できないので十分精査の上提案した。

開発目的を限定

問 基本方針で、開発行為の目的である予定建築物等の用途を大学、工場、研究所、文化・レクリエーション施設、スポーツ施設等に限定した理由は何か。

答 県の調整区域での五ヘクタール以上の大規模開発取り扱い方針と、市の新総合計画との整合性を基本として調整した。

問 今後東部ゾーンにおける開発については、国郡審に諮る必要はなくなるのか。

答 ゴルフ場等個々のプロジェクトについては国郡審に諮ってまいりたい。

ゴルフ場の総量規制

問 県の指導要綱でゴルフ場面積の総量規制が市域の四%とされているがなぜそれを超えるのか。

答 大和高原地域は、地域の実情を考慮し限度を超えて認めるとなっており、東部地域は大和高原としての取り扱いをされている。現在協議中及び計画中で市が承知しているものをもって一応連結したい。

雇用の確保

問 雇用の確保につながる

答 総量を決めると逆に目標にされたり、地質等状況に差があるので、業者に努力を求めている。協定に盛り

国庫補助調査新規採択なる

JR線立体化に大きく前進

JR奈良駅周辺の連続立体化を早期に実現させるため、昨年九月に設置した奈良市議会JR連続立体事業促進代表者は、JR線連続立体事業の早期実現を目指し十一月七日、国並びに国会議員に陳情しました。

浅川議長を初め超党派で組織した代表者会十二人は、奈良県選出国会議員や大蔵、建設省の大臣、政務次官、事務次官初め関係者に「JR奈良駅周辺連続立体交差事業調査の新規採択に関する要請書」

大規模開発についてどのようなものかを考えているか。

答 民間活力を利用したスポーツ、レクリエーション施設が主になる。

森林保全で水源守る

問 東部地域の森林を保全して水源地の涵養を図る必要があるが、ゴルフ場を認めたらそれができないのではないのか。

答 ゴルフ場の森林率を六〇%以上と定め、水源涵養林に活用できるようにしている。

農業の規制

問 厚生省が示した農業三十種類についての捕捉率は九三%であり完全なものではない。農業の総量規制や指定農業という考え方に内容を改めることはできないか。

答 総量を決めると逆に目標にされたり、地質等状況に差があるので、業者に努力を求めている。協定に盛り

込むことは今後検討したい。

中国文化村の建設

問 中国文化村の建設目的、進捗状況、交通対策は。

答 中国の倉元殿(がんげんでん)を中心に文物等の紹介を行う教育、文化、観光施設である。現在事前協議に入っており、今後環境アセスの実施等事業推進に協力したい。また、開発により道路の混雑が予想されるので、バイパス道路としての、名阪国道から長道奈良加茂線へのルートを計画したい。

請願

平成三年六月定例会で企画建設委員会に付託し、審査を行ってきた「黒谷配水池東面の住宅建設停止措置に関する請願書」と、「ゴルフ場計画の凍結を求める請願書」の二件は、今定例会でいずれも不採択となりました。

意見書

今定例会で可決し、政府等に提出した意見書の要旨は次のとおりです。

▽「ダイヤルQ」の悪用と青少年の被害、非行を防止するよう求める意見書

学童・青少年に悪影響を与える情報提供をやめるよう働きかけるとともに、利用者申し込み方法に改善されるよう関係者に求める。

▽地方交付税率の堅持並びに地方財政の拡充を求める意見書

政府が引き下げ等検討している交付税率の堅持と地方財政基盤の拡充強化を要望。

本 会 議

東部の開発と環境保全

学園前 西大寺 駅周辺整備など審議

十二月五日、六日の本会議に八人の議員が質疑・一般質問に立ちました。今後の財政見通し、東部の環境保全、近鉄学園前駅や西大寺駅周辺整備、また生産緑地法と市街化区域農地、小売店経営者への指導、助成策、高齢者対策、児童の福祉施設の充実などに熱心な質問や要望がありました。以下は各議員の発言と市長ら関係理事者の答弁の要旨です。

政 財

強行手段やむなし 市税の滞納整理

問 歳入の中で、市税の前年度からの滞納繰越が二十六億あり、決算で入ったのはそのうちの九億円、約十七億円が未納で残っている。十分な徴収努力をしたのか。また、予算提案のとき示された七項目のビジョンはどの程度生かされているのか。

答 歳入では、確かに年々の積み重ねによる滞納の繰越が多い。滞納分の整理には、時効の完成したものや時効を中断したもの、していないものがあるが、義務を果たさない人には、強行手段もやむを得ないとの考えでいま整理をしている。なお、今年度の七つの項目の公約事業は、総合的に判断しては合格点に到達していると思っている。

基本構想実現へ 来年度予算編成

問 四年度の予算編成に当たって本市の財政基盤と行政の基本姿勢は。

答 バブル経済がはじけた

ため市税収入のうち法人税の減収は避けられない。個人の市民税についても人口の伸び率が鈍化し納税者が増えず、伸び悩むのではないかと。しかし固定資産税は負担調整で税収増が見込め、全体としては前年よりも少し伸びるのではないかと考えている。そうした財政状況であるが、基本構想実現のための予算編成を行いたい。

行政姿勢

市民の協力必要 新総合計画推進

問 新総合計画で、計画の推進には市民との協力体制が必要とされているが、具体的にどのように臨もうとしているのか。

答 市民のためのまちづくりには、市民の意見、要望を政策決定の中に盛り込んでいくことが大事である。そのため、市政モニター、消費者モニター制度等を設けている。各地域の要望はそれ

オンブズマンの制度化を 公正な立場で市政監視

を受け、回答をしていく中で市政に反映している。今後これらを充実していきたい。

問 文化庁を奈良市に誘致する考えはないか。

答 奈良市は、文化財の宝庫で、平城宮跡もある。関西文化学術研究都市構想の中では、文化財ゾーンとしての役割を受け持つことになっているため、文化財の総合機構を誘致すべく県とともに努力していきたい。

問 多数の多面的なニーズに対応するために行政執行の過程を中立、公平な立場で調査をし、監視するオンブズマン制度がある。川崎市では、すでに昨年、オンブズマン条例をつくっている。奈良市においても制度化する考えはないか。

答 研究する時期に来ているとは考えるが、地方自治法の改正で、これまで、会計事務の監査だけをしていた監査委員が行政を含めた監査も行うこととなり、また、常任監査委員を置くことができるようになったので、できるだけ早く常任監査委員制を導入したい。

福 祉

七年度にオープン 医療検査センター

問 市民が一日も早く願っている医療センターは、いつできるのか。

答 市立の仮称医療検査センターは、日常の健康増進、疾病の予防と発見からリハビリテーションまで包括的な保健医療サービスを効果的に提供できる体制の施設である。

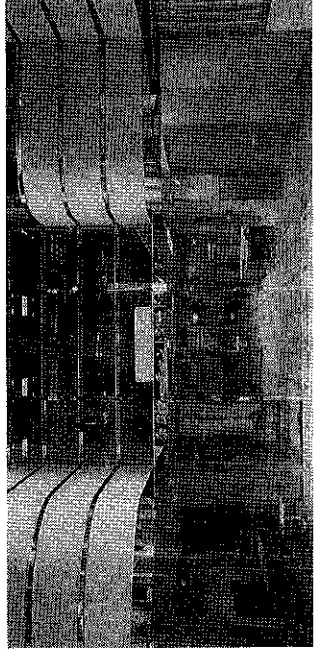
経 済

情報発進や経営近代化へ 既存商店街対策

問 大型店舗の進出ラッシュに加えて奈良ファミリーが完成すれば、大型店の売場面積は、市内で十九万平方メートルになり、売場面積に大型店舗の占める割合は、五〇%を超えることは確実とみられる。これは、市の中央市街地ゾーンの中にある既存商店街には甚大な影響がある。市は、どんな対策をとるのか、助成を図る考えはあるのか。

答 中央の市街地ゾーンの商店街は、大型店の進出や市内中心部での人口増の鈍化などで、激しさを増している。行政としては、商店街や経営の近代化への方策を指導したり、フォローもしていかなければならない。商業機能の充実、情報化への対応、経営者への指導体系の確立が必要である。

そのための情報の収集、発信などに餅飯殿町のマーチャントシードセンターを御利用いただきたい。



マーチャントシードセンター

特養ホームの増設を

問 特別養護老人ホームは待機者が多くて入所できない。増設の計画はあるのか。

生産緑地法

法律改正に迷う農家

申請期限延長はムリ

問 生産緑地法は、市街化区域農地に宅地並みの課税をすることで、農業から撤退させ、宅地やオフィスビルの土地にさせようとするもので、いま農家の間で混乱が起きている。

市では、十月下旬、数カ所で説明会を開き、法の周知徹底に努力されたが、まだ十分に理解されていない。平成三年十二月二十日が法適用の申請の締切日だが、申請を出さずに出さないかの結論が出せないでいる農家が多い。二、三カ月期限を延ばすべきではないか。

答 平成四年十二月までに地区指定の事務手続を完了させること、農家から撤退させ、宅地やオフィスビルの土地にさせようとするもので、いま農家の間で混乱が起きている。市では、十月下旬、数カ所で説明会を開き、法の周知徹底に努力されたが、まだ十分に理解されていない。平成三年十二月二十日が法適用の申請の締切日だが、申請を出さずに出さないかの結論が出せないでいる農家が多い。二、三カ月期限を延ばすべきではないか。

保育所の増設を 待機児童五百人

問 保育所への待機児童は年度末で七百七人である。伏見保育園では建て替えて八十人増えるが、あと何カ所の増設が必要と考えているのか。

答 現在、保育所には、公立十八園、私立十二園で約三千九百人の児童を収容しており、現在の待機児童は約五百

人である。本年と来年度で伏見保育園の定員増を含めて全面改築を進めている。

五年度から実施
きり老人の歯科治療

問 計画が進められている在宅寝たきり老人に対する訪問歯科治療の計画の進捗状況と実施時期について聞きたい。

答 本年度は、他市の状況調査と寝たきり老人に対して歯科治療希望のアンケート調査を行った。調査の結果四三パーセントの人が治療希望を持っていた。来年度は歯科医師会、医師会等で構成する準備委員会を設け、調整を図りながら、平成五年度実施に努力していきたい。

質問と

都市整備

積水工場七年に移転跡地利用は調査中

問 市の中心部にある朱雀大路の整備が遅れるとスプロール化が危惧される。一番の懸案となっている積水化学の移転の時期と跡地利用計画はどうなっているのか。

答 積水化学工場の移転は、いま、中ノ川町で不足分の代替用地を買収中で、四年度に開発申請、五年と六年度に造成、七年度に移転を計画している。

跡地利用は国の補助で、ネオ都市開発事業として現在、調査しており、それが終わると利用計画を成案したい。

問 西大寺は、駅で南と北に分かれ、町としての一体性がない。

学園前駅南側整備完成は十年の予定

問 近鉄西大寺駅北側と学園前駅南側の再開発事業の進捗状況は。

答 西大寺駅北側は駅前広場に隣接した東側約千平方メートルで建物移転と発掘調査を進めており、事業決定に向けて各地権者と話し合っている。

道路も近鉄線と平面で交差して、踏切りで車が渋滞し、歩行者にもイライラをつくらせている。西大寺駅・近鉄線の連続立体化は地元の強い要請だ。今こそ立体化の時期だが、どう考えるか。

答 近鉄の立体化は必要と思うが、JRの連続立体事業を控えており、今直ちにはいかな。現在県道の立体化を県にお願いしている。

再開発ビルは個々の権利の集合体であり全体の合意が必要となる。完成は平成十四年ごろになると思う。

東部開発

自然環境利用の事業企画

第三セクター方式で民間協力を

問 東部開発は地域住民の意思が大事であり、地域の人と一体となって行わないといけない。平成元年三月のアンケート調査では、道路交通網を整備し、自然を生かしたすばらしい公園や文化施設、教育施設を誘致してほしいとのことだが、こういうものは市独自の財源では無理だ。国や県の積極的な支援や第三セクター方式による企業の協力がなければならぬと思うが、

市の考えはどうか。

答 東部地域の活性化には、布目ダムの完成に伴い、山添村を含めた周辺の環境整備と併せて活性化に結びつけていく考え方や、柳生・大柳生地域で地元の人達が考えておられることもあり、それらを含めて総合的に考えていきたい。

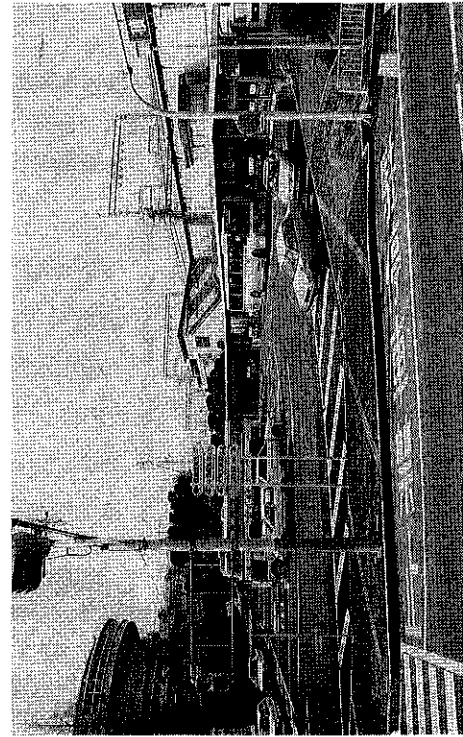
問 市の興座敷といわれる東部は、市の全面積二百一十平方キロの四三％もある。

その多くが森林で占められていて、奈良市民にとっては、大切な水源地である。

自然環境と水源を守るという立場から、どれだけの森林を残すのか。

答 東部地域は市民の大切な水源地であり、環境保全には留意していかなければならない。また、その地域の活性化も考えていく必要がある。このため先般、議会の議決を得た基本方針に基づき、ゴルフ場における森林率の比率においても従来よりも増やし、適正な保全をやっているよう努力したい。

また、河川・ダムに近いところは努めて残していかなければならないので業者と協議しながら強力に行政指導をしていきたい。



再開発される学園前駅南側

教育

柳生を観光と教育の場に

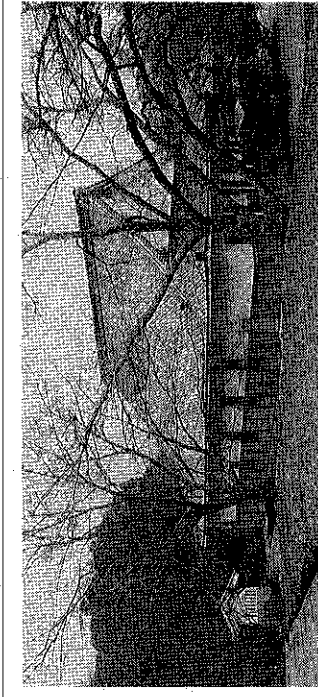
剣道による活性化

問 柳生には、毎年、全国各地から剣道をたしなむ多くの人が集まるが、練習や座禅をする場所がなく、正木坂道場を外からのぞいて帰る有様だ。

正木坂道場拡充のため援助協力はできないか。

また芳徳寺を市の文化財に指定できないか。

答 正木坂道場の事業につ



正木坂道場（柳生町）

文化的な公共施設を

副都心・西大寺駅周辺に

問 奈良市の副都心といわれる西大寺駅周辺は、人が集まって催し物をする会場がなく、北側の再開発や南側の区画整理をしても、文化的な公共施設が一つもない。

市の責任で文化施設をつくるため、駅前整備の区域内で用地を確保すべきではないか。

答 一中学校区に一公民館の建設が完了したので、現在一小学校区に一つの分館ということで計画しているが、西大寺周辺については地価高騰で用地の確保が困難である。南地区土地区画整理事業で保留地等の関係で考えていける

場所があるかと思うので、その方向で検討していきたい。

南部にスポーツセンター

問 市の新総合計画では、市内を五つのゾーンに分け、各ゾーンの特徴を生かして計画を立てることになっているが、南部ゾーンは、どのように計画しているのか。

答 南部ゾーンの土地利用は、調整区域内の都市近郊農地としての保全、企業立地、南部生涯スポーツ・センターの建設などを考えている。地域に密着した整備を行ってみたい。

環境

一世帯四万円

47億4900万円 年間のごみ処理費

問 市の減量化を市民に呼びかけているが、いま一つ効果は上がらない。市民の中には、ごみは市が集めるのが当たり前

ら要望があり、県とも協議しながら検討している。

市としては地元の観光協会と相談して剣道による地域の活性化を進めたい。

早期発見に努力 いじめへの対応

問 先日、豊中市の中学校で女生徒が集団暴行を受けて死亡した事件があったが、学校内での陰湿ないじめの実態を奈良市では、どの程度に把握しているのか。

なお、青少年の健全育成を目的とした須川のキャンプ場が老朽化しているのをどうするの。

答 本市でのいじめの実態は平成二年度で小学校で二件、中学校で六十九件である。

このため教員がいじめを早期に発見して適切な指導ができるように、カウンセリング講座や研修会を行っており、重大さはよく認識している。

キャンプ場は老朽化して、利用者が激減したので、野外活動センターの隣接地にキャンプ場を移転する方針だ。

との気持が残っているようだ。

ごみ処理の年間の対策費は幾らか。それは、一世帯一人当たりでどれだけになるのか。また、各家庭ごとのごみ処理費用を試算してPRすべきではないか。

先日、市の補助で各家庭に買われた容器はどれだけか。

答 ごみの処理コストは、平成二年で四十七億四千九百万円、一世帯四百八十九円、市民一人当たりだと、一万五千五百十六円になる。有料化を検討する自治体が増えているが、不法投棄の問題も起る。

ごみのリサイクルや減量のため市が購入費を助成している生ごみの堆肥化容器と焼却炉は合わせて六千三百七十七個が購入された。

大切なことは、市民一人ひとりがリサイクルによって、ごみの減量に努めてくれることだ。

庁内に連絡網 トータルな水管理

問 水質汚濁等、水問題解決のためにトータルに水を管理することが求められている。行政機構はどのようになっていくのか。

答 水は私達の生活に欠かすことのできない自然の恵みであるという考えの下、総合的な水利用、水質保全、治水等の施策に取り組んでいく。また、下水道の普及や浄化槽の点検、合所排水対策等の啓発に努める必要がある。庁内的には総合した連絡会議の組織を検討中である。

決算特別委員会の審査概要

決算特別委員会で審査し認定した平成二年度一般会計と十二特別会計の総計決算額は、歳入千三百七十七億六千二百八十四万七千円、歳出千二百六十四億五千三百六十三万四千円、繰越財源千四百四十四万四千円を差し引いた実質収支は、十七億九千四百七十六万九千九百九十九円の黒字となっております。一般会計実質収支十五億三千六百二十四万四千円のうち八億四千万円が財政調整基金に繰り入れられています。委員会審査のおもな内容は次のとおりです。

市税の滞納対策

問 市税の収入未済額が多額になっているが解消策は。
また口座振替の加入状況は。
答 公平に納税いただけるよう粘り強い催告をしている。口座振替の加入率は、全納税義務者の二二%と低く、今後PRし拡充していきたい。

自治会への対応

問 自治会について各種団体からの募金要請、市政への要望が地区連合会で取捨選択されること、交付金や自治会長に対する実質弁済等についてどう考えるか。
答 自治会の募金活動等は連合会で協議していただけるようにしたい。自治会からの要望については意見を反映するように努めたい。交付金は連合会への運営補助や公的文书配布の報償である。実質弁済については今後の検討課題としたい。

東部の意識調査

問 元年度に実施した東部地域の意識調査をやり直す必要はないか。
答 状況も変化しているの

で、設問等に配慮し、再度住民意識調査を行う。

ホームヘルパーの待遇

問 高齢者福祉における登録ホームヘルパーの待遇を改善する考えはないか。
答 国の基準で支給しているが、市単独で通勤の往復一時間をプラスしているほか、専門的知識の研修時間にも支給している。また消耗品の現物支給も行っている。来年度国においても増額される予定である。

JR奈良駅の仮換地

問 JR奈良駅周辺地区土地区画整理事業の仮換地通知後の行政不服審査請求はあるのか。また仮換地指定に際し、地権者と事前に相談がなされたか。
答 県より事情聴取書が二件きている。すべての地権者の希望に添うことは不可能だから地権者との事前調整は行っていない。

あやめ池駅前整備

問 あやめ池駅前広場の整備課題は何か。
答 都市計画街路の整備に

伴い駅前広場の整備調査をしたが、地権者の協力と北側の風致、高度規制等の調整がある。

分別収集

問 リサイクルシステムの確立、分別収集の体制づくりはどうするのか。
答 民間レベルでリサイクルの難しい缶、瓶類について、市直営の分別収集を計画している。来年度モデル地区を設定して実験的に実施したい。

リサイクル施設建設

問 ごみ焼却炉の定期点検整備費の増加の原因は何か。また工場増設の考えは。
答 ごみ質の変化に伴う高温による炉の傷みが激しく機器の交換が必要になる。また、炉の増設は必要で地下方式等も考えている。当面はリサイクルに重点を置き、リサイクル施設の建設を考えていきたい。

富雄駅北の再開発

問 富雄駅北地区市街地再開発事業の地元との交渉の進捗状況は。
答 賛成者が三五%と少な

(単位：千円)

区	分	歳入	歳出	形式収支	実質収支
一	一般会計	89,459,109	84,887,200	4,591,909	1,536,244
二	特別会計	42,303,738	41,586,434	717,304	258,525
合	計	131,762,847	126,453,634	5,309,213	1,794,769

く交渉窓口となる協議会の設置もされていない状況であるが、今後窓口となる組織の設置に努力していきたい。

学校週五日制の対応

問 学校週五日制への対応は。
答 健全育成のための受け皿が問題であり、家庭・地域・一日制というところえ方が大事である。学校週五日制推進協議会を発足させ、行政・学校・社会教育団体との間で十分協議し、具体的な推進案をつくりたい。

平面交差の解消

問 都市計画街路三条・法華寺線の近鉄線との平面交差の解消はいつか。
答 残る地権者二件について早期に話し合い、解決したいと考えている。また先行し

決算特別委員会
委員長 西岡 薫孝
副委員長 岡本 志郎
上原 喬 松田 未作
吉田 文彦 福西 靖
島崎 光治 黒川 恵三
日和佐機甫 小林 照代
中村 重信 大谷 督
扇田 善次 東田 坦

て歩道のトンネルを設置するには、隣接する私有地の土地利用の問題もあり可能性について検討したい。

商店街の活性化策

問 大型店の出店増が予想されるが、既存商店街の活性化策は。
答 三年六月にオープンしたマーチャントシードセンターの活用と、国・県でのメニューで及ばないところを市の施策で補完すべく提案している。



現地で説明を受ける都市基盤整備特別委員(生流里町で)

▽工事請負契約の締結について
。庁舎駐車場棟新築その他工事
。伏見幼稚園園舎改築その他工事
。富雄公民館改築その他

▽市立高等学校及び幼稚園における授業料等に関する条例の一部改正について
。高等学校の入学料及び幼稚園の入園料(平成四年四月一日施行)現行四十四円→改正四十六百円
。高等学校の入学考査料(公布の日から施行)現行千八百円→改正千九百円

▽財産の取得について
中学校・高等学校教材用パソコン

各委員会が視察行う
教育厚生委員会初め三常任委員会と都市基盤整備特別委員会は、議案審査や所管事務調査の参考にするため次のとおり他都市並びに市内の現地視察を行いました。
。十一月六日～七日 経済水道委員会 茨城県霞ヶ浦浄水場：高度浄水処理の状況
教育厚生委員会 藤沢市清掃工場：分別処理を中心とする行政全般
。十一月八日～十九日 企画建設委員会 岡山県御津郡加茂川町、上房郡加陽町内：吉備高原都市の建設状況
。十一月二十一日 都市基盤整備特別委員会 奈良市生流里町中国文化村建設予定地及び東部地域のゴルフ場
。十一月二十二日 教育厚生委員会 奈良市環境清美工場

12月議会で決まったこと
▽工事請負契約の締結について
。庁舎駐車場棟新築その他工事
。伏見幼稚園園舎改築その他工事
。富雄公民館改築その他

▽市立高等学校及び幼稚園における授業料等に関する条例の一部改正について
。高等学校の入学料及び幼稚園の入園料(平成四年四月一日施行)現行四十四円→改正四十六百円
。高等学校の入学考査料(公布の日から施行)現行千八百円→改正千九百円

委員会は、議案審査や所管事務調査の参考にするため次のとおり他都市並びに市内の現地視察を行いました。
。十一月六日～七日 経済水道委員会 茨城県霞ヶ浦浄水場：高度浄水処理の状況
教育厚生委員会 藤沢市清掃工場：分別処理を中心とする行政全般
。十一月八日～十九日 企画建設委員会 岡山県御津郡加茂川町、上房郡加陽町内：吉備高原都市の建設状況
。十一月二十一日 都市基盤整備特別委員会 奈良市生流里町中国文化村建設予定地及び東部地域のゴルフ場
。十一月二十二日 教育厚生委員会 奈良市環境清美工場

議会日誌

- 十月 21日 総務財政委員会
- 23日 都市基盤整備特別委員会
- 十一月 1日 議会だより第28号発行
- 6日 都市基盤整備特別委員会、経済水道委員会、茨城県霞ヶ浦浄水場を視察、教育厚生委員会、藤沢市を視察
- 7日 JR連続立体事業促進代表者会、政府へ陳情
- 18日 企画建設委員会、岡山県吉備高原都市を視察
- 21日 都市基盤整備特別委員会
- 22日 教育厚生委員会
- 25日 内示会
- 26日 幹事長会
- 28日 企画建設委員会
- 十二月 2日 本会議(十二月定例会開会)
- 5・6日 本会議
- 6日 企画建設委員会
- 9日 本会議
- 9～12日 決算特別委員会
- 16日 本会議(十二月定例会開会)

編集後記

今年の大寒は一月二十一日、辞典によれば、「大寒」とは二十四節気の一つで、非常に寒いこと、またその時とある。一面には、寒い中、裸になつて元気に楽しく乾布摩擦に励んでいる園児たちの写真を掲載しました。園児たちの元気な熱気で、寒さもどこかへ吹き飛んでしまいそうでした。